

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【公開番号】特開 2019-43085 (P2019-43085A)

【公開日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-011

【出願番号】特願 2017-170897 (P2017-170897)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/18 (2006.01)

B 3 2 B 27/34 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/18 Z

B 3 2 B 27/34

B 3 2 B 27/40

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 17 日 (2020.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材層と、前記基材層の片面に積層された印刷層とを有する軟包装用表刷り積層体であって、

前記印刷層は、バインダー樹脂および融点が 50 以上の炭化水素系ワックスを含有し、前記基材層は、前記印刷層と接する面を構成する基材 1 と、前記印刷層と接触しない裏面を構成する基材 2 とを含んでなり、

基材層の、印刷層と接する面の濡れ指数が、印刷層と接しない裏面の濡れ指数よりも大きく、各濡れ指数の差が 3 d y n / c m 以上である、軟包装用表刷り積層体。

【請求項 2】

バインダー樹脂は、ポリウレタン樹脂および / またはポリアミド樹脂を、バインダー樹脂総質量中に合計で 30 質量 % 以上含有することを特徴とする、請求項 1 に記載の軟包装用表刷り積層体。

【請求項 3】

バインダー樹脂が、ポリウレタン樹脂またはポリアミド樹脂と、セルロース系樹脂および / または塩化ビニル - 酢酸ビニル共重合樹脂と、を 30 / 70 ~ 95 / 5 の質量比で含有する、請求項 1 または 2 に記載の軟包装用表刷り積層体。

【請求項 4】

炭化水素系ワックスの針入度が、0.1 ~ 1.5 である、請求項 1 ~ 3 いずれかに記載の軟包装用表刷り積層体。

【請求項 5】

炭化水素系ワックスが、ポリエチレンワックスを含有することを特徴とする、請求項 1 ~ 4 いずれかに記載の軟包装用表刷り積層体。

【請求項 6】

基材層が、基材 1、接着剤層および基材 2 を順次有し、印刷層と接する面の濡れ指数が、
30 ～ 60 dyn / cm である、請求項 1 ～ 5 いずれかに記載の軟包装用表刷り積層体。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 いずれかに記載の軟包装用表刷り積層体からなる軟包装袋。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

すなわち、本発明は、基材層と、前記基材層の片面に積層された印刷層とを有する軟包装用表刷り積層体であって、

前記印刷層は、バインダー樹脂および融点が 50 以上の炭化水素系ワックスを含有し、
前記基材層は、前記印刷層と接する面を構成する基材 1 と、前記印刷層と接触しない裏面
を構成する基材 2 とを含んでなり、

基材層の、印刷層と接する面の濡れ指数が、印刷層と接しない裏面の濡れ指数よりも大き
く、各濡れ指数の差が 3 dyn / cm 以上である、軟包装用表刷り積層体に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

更に本発明は、バインダー樹脂が、ポリウレタン樹脂またはポリアミド樹脂と、セルロー
ス系樹脂および / または塩化ビニル - 酢酸ビニル共重合樹脂と、を 30 / 70 ～ 95 / 5
の質量比で含有する、前記軟包装用表刷り積層体に関する。

更に本発明は、炭化水素系ワックスの針入度が、0.1 ～ 1.5 である、前記軟包装用表刷
り積層体に関する。

更に本発明は、前記炭化水素系ワックスが、ポリエチレンワックスを含有することを特徴
とする前記軟包装用表刷り積層体に関する。

更に本発明は、基材層が、基材 1、接着剤層および基材 2 を順次有し、印刷層と接する面
の濡れ指数が、30 ～ 60 dyn / cm である、前記軟包装用表刷り積層体に関する。